

資料提供(投げ込み) 平成29年10月13日(金)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
教育員会事務局 生涯学習課 (電話059-229-3251)	生涯学習課長 米山 浩之

## 専修寺御影堂と如来堂の国宝（建造物）の指定について

国の文化審議会では、平成29年10月20日(金)に開催される文化審議会文化財分科会の審議、議決を経て、新たに津市一身田町に所在する専修寺の御影堂と如来堂を国宝（建造物）に指定することについて、文部科学大臣へ答申を行うこととなりました。

今回の指定により、国宝（建造物）の累計は、225件（284棟）となり、三重県内では、初めての建造物の国宝指定となります。建造物以外では、県内に4件の美術工芸品が国宝指定されています。

### 記

- 1 国宝指定の答申が行われる建造物
  - (1) 専修寺 御影堂（せんじゅじみえいどう）1棟
  - (2) 専修寺 如来堂（せんじゅじによらいどう）1棟
- 2 所在地
 

津市一身田町2819番地
- 3 所有者
 

宗教法人専修寺
- 4 概要
 

別紙のとおり
- 5 記念写真パネル展示の開催
 

専修寺御影堂及び如来堂を紹介する写真パネル展示を下記とおり行います。

  - (1) 期間 平成29年10月21日(土)～11月26日(日)
  - (2) 場所 ① 三重県総合博物館 3階 学習交流スペース  
② 津市中央公民館ギャラリー  
③ 津市一身田寺内町の館エントランス

## 1 専修寺の概要

専修寺（せんじゅじ）は、津市一身田町に所在する真宗高田派の本山寺院です。栃木県真岡市（もおかし）高田で、草創され、15世紀後期に現在地に移り境内を構えたと言われていています。度重なる火災で堂宇が焼失しましたが、万治元年（1658）に津藩主藤堂家から土地の寄進を受け、御影堂から順次、諸堂が整えられてきました。広大な境内には、今回指定を受けた御影堂、如来堂の両堂のほか、宗祖親鸞を含む歴代上人の廟所や拜堂からなる御廟や、山門、唐門、鐘楼等の歴史的建造物が現在まで良好に維持されています。また境内とこれを取り巻く一身田寺内町とが一体的に整備され、ひとつの歴史的な景観をなしています。

今回、御影堂、如来堂は「重要文化財のうち極めて優秀で、かつ、文化史的意義の特に深いもの」という指定基準により国宝指定の答申を受けることになりました。現在、御影堂・如来堂は昭和36年に、また境内の山門等11棟が平成25年に重要文化財に指定されています。

## 2 国宝答申文化財「御影堂」の概要

### (1) 名称

専修寺 御影堂（みえいどう）1棟

附（ついたり）宮殿（くうでん）一基、旧獅子口（きゅうししぐち）一組

### (2) 建立年代

寛文6年（1666）

### (3) 構造

桁行9間（42.6m）、梁間9間（36.6m）、入母屋造、本瓦葺

### (4) 建物概要

宗祖親鸞及び歴代上人を祀る堂です。専修寺の境内では最も古い建造物で、江戸時代の寺院建築では全国でも5本の指に入る大きい建物です。屋根を支える柱を効果的に配置し、大空間を確保すると同時に、多彩な装飾で壮麗な信仰空間をつくりだしています。また、床の高低差や柱によって内部の空間を区切ることで、空間秩序をあらわしており、他の浄土真宗寺院とは異なる特徴をもっています。

また、親鸞像を安置する宮殿（くうでん）は棟札から元禄15年（1702）に作られたことがわかり、金箔や極彩色の彫刻で飾られた華麗な意匠が特徴です。この宮殿と、建築当初に大棟（おおむね）に据えられていた獅子口（ししぐち）が附（ついたり）として指定されます。

### 3 国宝答申文化財「如来堂」の概要

#### (1) 名称

専修寺 如来堂（によらいどう）1棟

附 宮殿（くうでん）一基、如来堂御建立録（によらいどうごこんりゅうろく）一冊、御本山阿弥陀堂御上棟儀式御飭物（ごほんざんあみだどうごじょうとうぎしきおかざりもの）一枚

#### (2) 建立年代

寛延元年（1748）

#### (3) 構造

桁行5間（桁行25.7m）、梁間4間（梁間26.6m）、入母屋造、本瓦葺

#### (4) 建物概要

御影堂の西に位置し、本尊 阿弥陀如来立像（あみだによらいりゅうぞう）を祀る堂です。御影堂と比べると面積は小さいのですが、高さを揃えることで、大きさの違いを感じさせないようにになっています。

外観は、禅宗様（ぜんしゅうよう）の特徴の一つである組物に、彫刻を施し、裳階（もこし）を付けた重厚な屋根に負けない力強い造形となっています。また、室内は精緻な彫刻が施された組物や欄間、金箔で華やかに装飾されており、荘厳な空間をつくりだしています。

本尊阿弥陀如来立像を祀る宮殿は、扉の銘より元文6年（1741）に京都で制作されたことがわかり、彫刻や金箔で華麗に装飾されています。

また、如来堂を建てるために、末寺や門信徒が資金を集めた当時の記録である「如来堂御建立録」と上棟儀式時の供物の記録である「御本山阿弥陀堂御上棟儀式御飭物」という2つの古文書が、宮殿とともに附として指定されます。



専修寺 御影堂（右）・如来堂（左）



御影堂 (みえいどう)



御影堂 (みえいどう) 内部



御影堂宮殿



如来堂（によらいどう）



如来堂（によらいどう） 内部



如来堂宮殿

※ 写真データについては、生涯学習課文化財担当（津市教育委員会庁舎2階）で提供可能です。